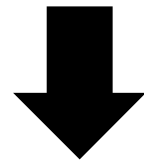


4. 読みを深める交流のポイント

- ① 連続的な対話
- ② 深化型発問
- ③ 発言の記録

①連続的な対話

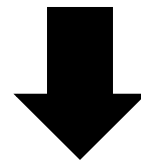
言葉による見方・考え方を働かせて学ぶことは、他者と協働することでより洗練された知識・技能となる。



ペア対話やグループ対話は授業の導入時から行う。

②深化型発問

「拡散型」や「整理型」の板書をしたときに陥りがちな「活動あって学びなし」を解消するには発問が必要



拡散した思考、整理した情報などを使って、思考を深めたりゆさぶったりすることのできる深化型発問を準備しておく

②深化型発問

一つの花
今西祐行
松永禎郎 絵作

一つの花にこめたお父さんの願い

ゆみこだけでは
伝わっている
母に

コスモスの花が「輪から」

飛ばしに ↓ コスモスの
スキップをする
トネル

ゆみ子の気持ちは
うれしい
幸せ

コスモスの花の
ように強く生きて

みんながよかった
山ほどちやうたいと
してほしい

いはいのコスモス
いはいのまんなか

お肉とお魚どちが
いいの選 択肢か
お肉やお魚を食へられる

配給

「お父さんがあだこ
とも知らない」
賞えてほしかった
のでは？
直接は云えん
ゆみ子は知らない
母には
伝わっている

誰からもらたが
分らない
伝わっていない
お父さんの顔を
おぼえていません

十年の年月

「ふりかえり」十年間の母の思い

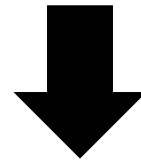
父のことを話さなかったのは、ゆみ子のため
悲しまない、父を戦争で失ったことを
話す、戦争へのいかりをもってし

10年間、お母さんはどんな思いで
ゆみこを育ててきたんだろう。

一つの花に込めた
お父さんの思いは
伝わったのかな。

③発言の記録

板書にどの言葉を残していいかわからない。



できるだけ全部書く。取捨選択しながらつながり、深めていくのは子どもたち。そのつな^がりを板書する。(囲み・波線・矢印等)

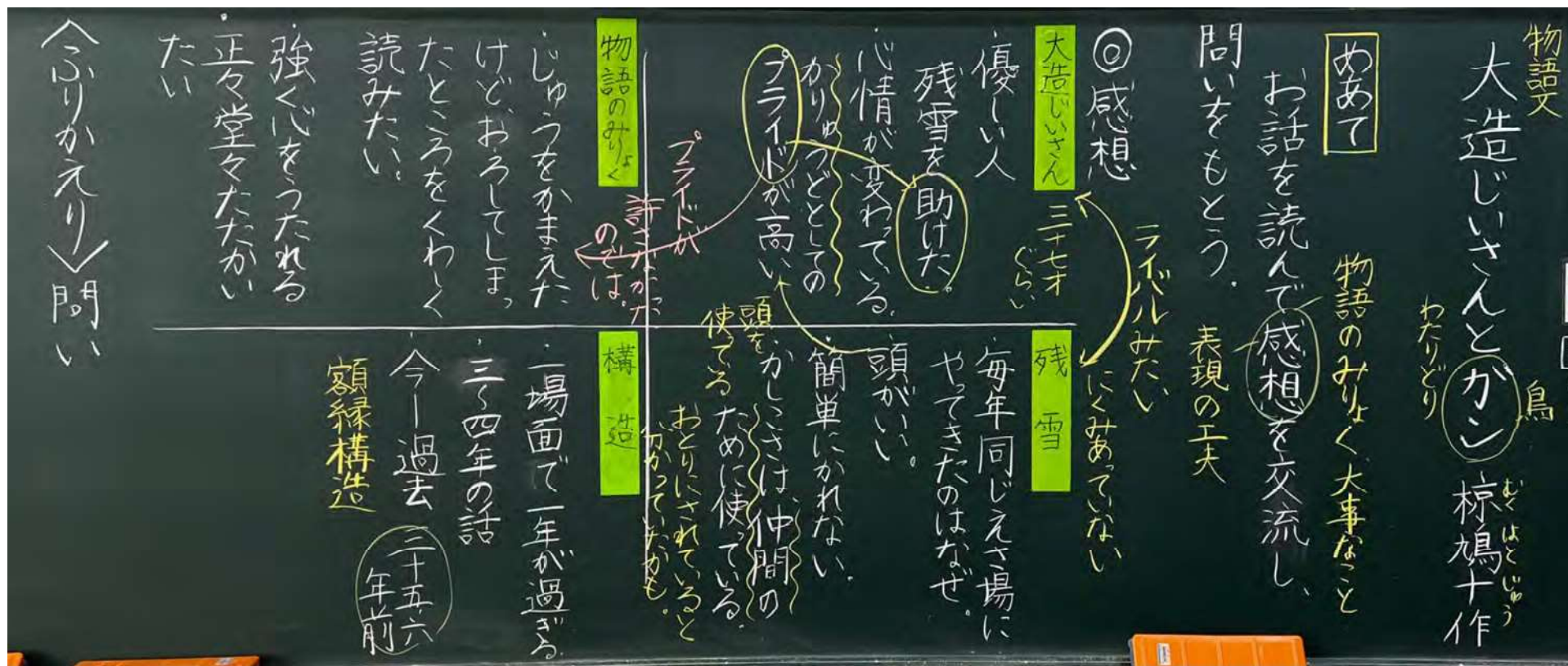
5. 2学期に役立つ板書紹介

(1) 大造じいさんとガン
(全社掲載 5年・文学)

(2) 大人になれなかった弟たちに……
(光村図書中学1年・文学)

(1) 大造じいさんとガン

第1時 物語を読んで感想を交流し、問いをもとう。



思考を
構造化する

初発の感想

めあて

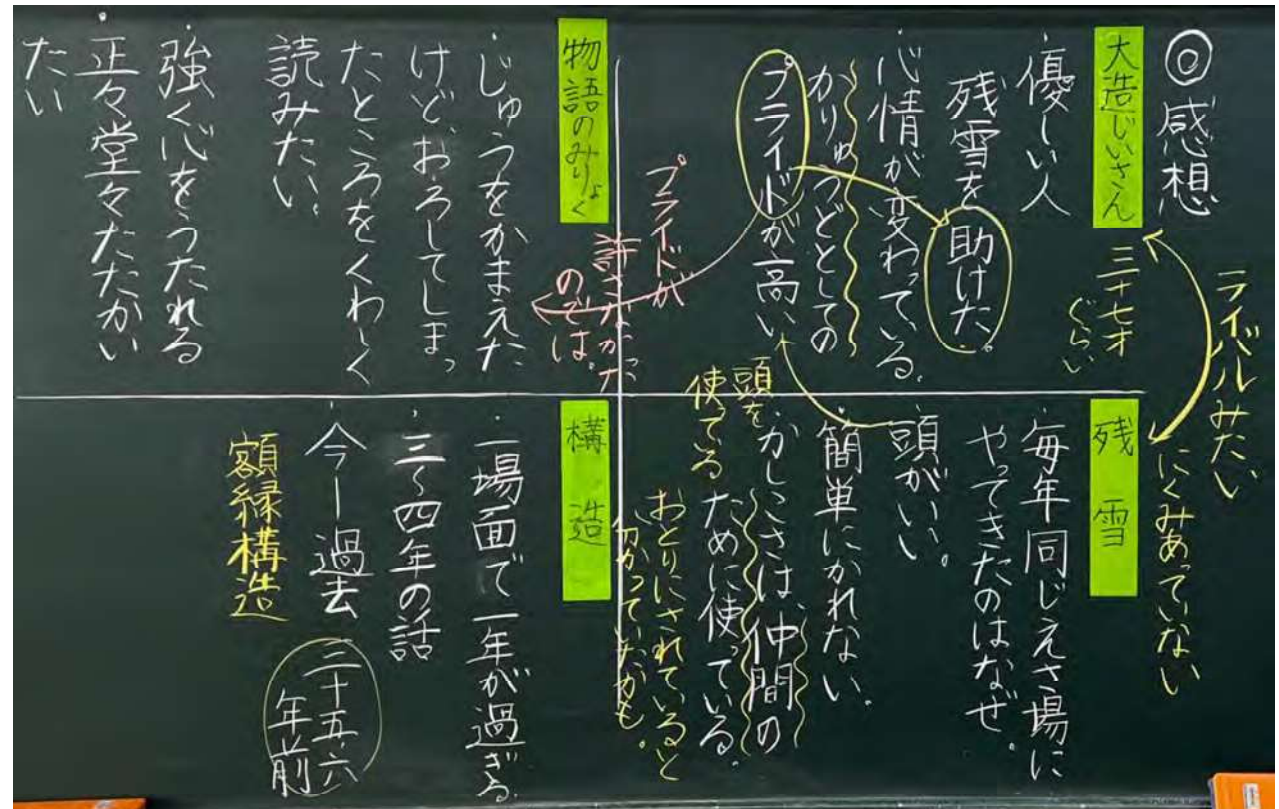
作者

題名
読み

第1時 物語を読んで感想を交流し、問いをもとう。

思考を 構造化する

- どの観点で感想を書いたかを自覚させる。
- 誰の考えとつながるかを意識させる。
- 交流をしながら気づきを生み、意見のつながりを可視化する。



第2時 物語の設定を確かめて、読みどころを明確にしよう。

残雪

事件: ハヤブサ

対人物: 残雪

中心人物: 大造じいさん

対人物: 大造の残雪の戦い、ハヤブサと残雪の戦い

時: 1970 ~ 今

季節: 春、冬、秋

年: 三、五、六年前

おとりのガン 作戦の一部

おろしてしまいました。

わなにかける思い

なぜ「残雪」としないのか。

めあて: 物語の設定を確かめて、読みどころを明確にしよう

大造じいさん、かん、椋鳩十作

対人物、脇役

①設定

深い読みどころ、問い

英雄なのに、キーアイテムではないのか...

1) 正しいどの場面にあった?

場面	回数
1場面	1
2場面	2
3場面	3
4場面	4
物語全体	10

ふり
かえり

ICT

色
チョーク

シンキング
ツール

学習用語
の確認

めあての
読み深め

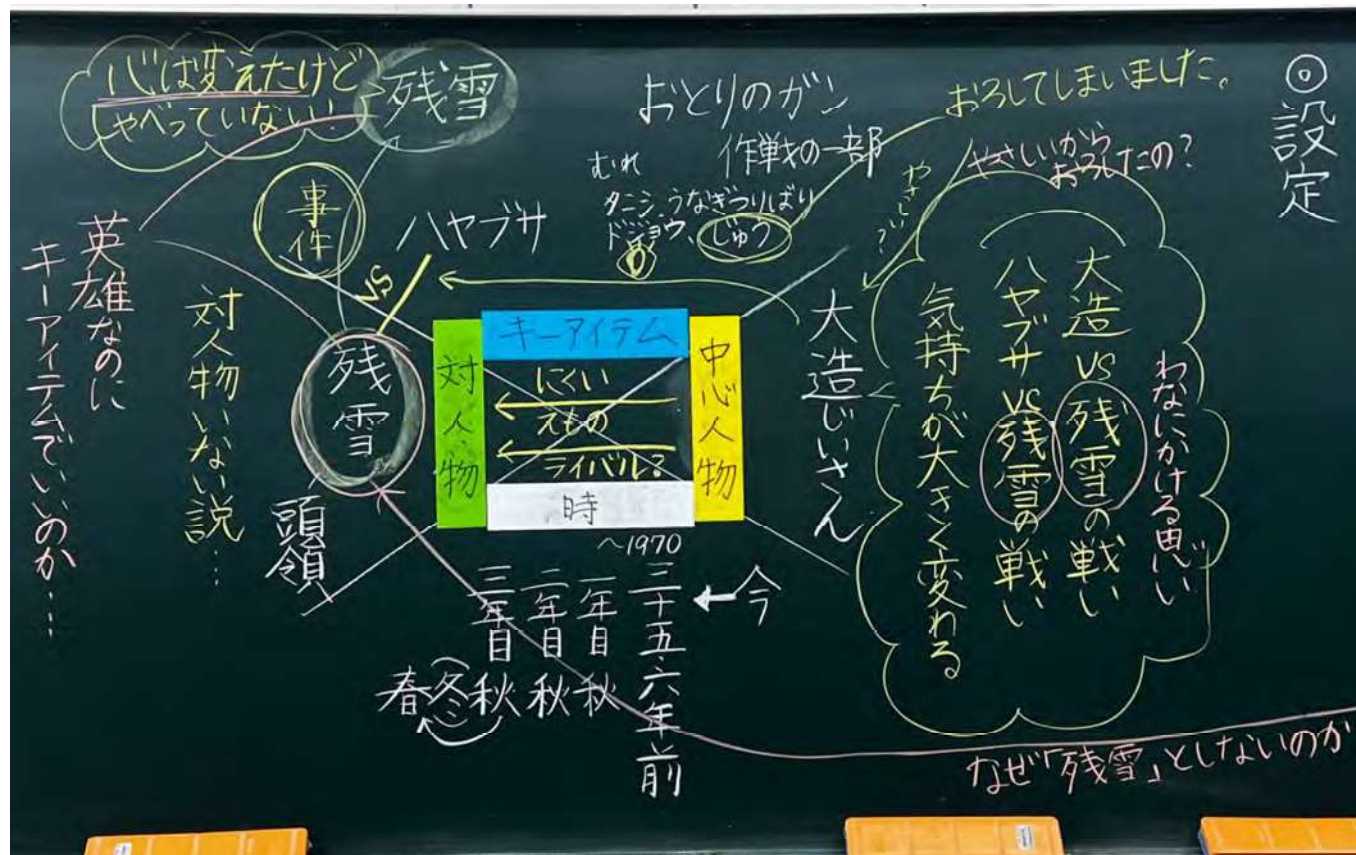
第2時 物語の設定を確かめて、読みどころを明確にしよう。

シンキングツール

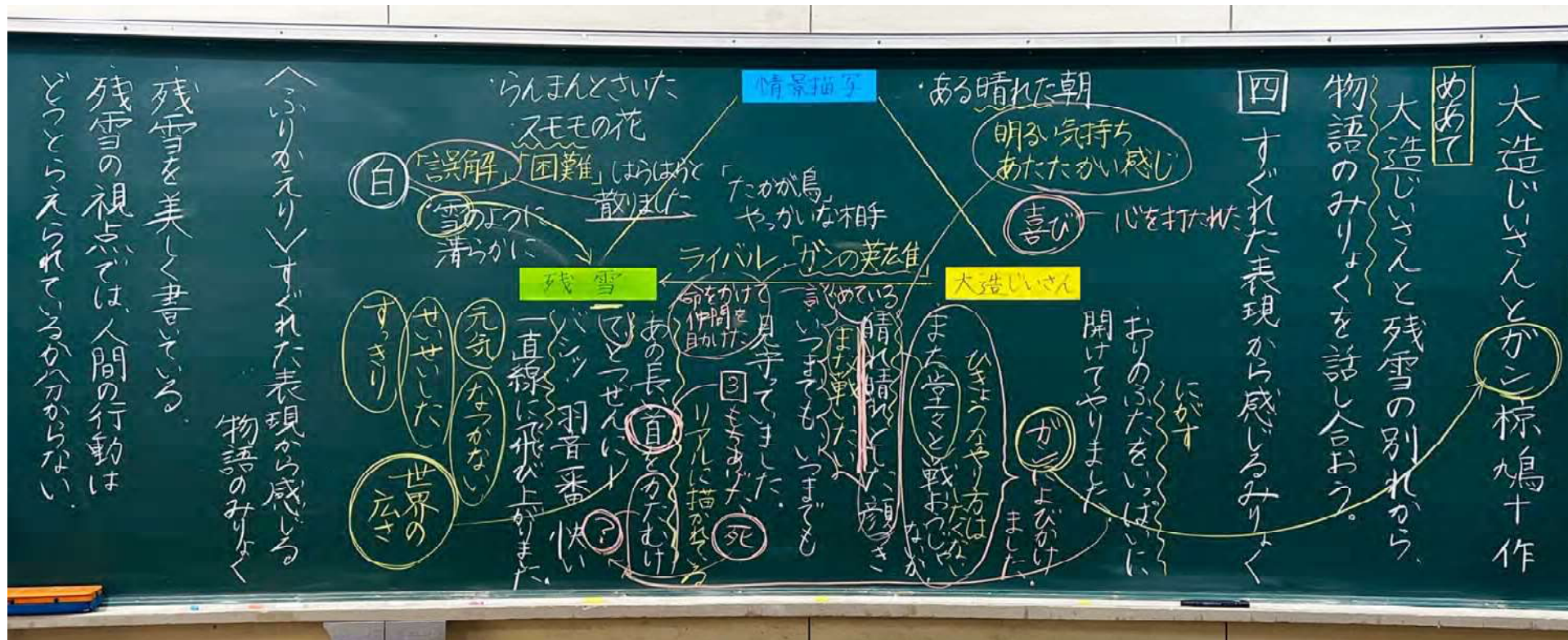
思考方法を揃えて気づきを生む。

色チョーク

つながり・深まりの可視化。



第5時 大造じいさんと残雪の別れから、 物語の魅力話し合おう。



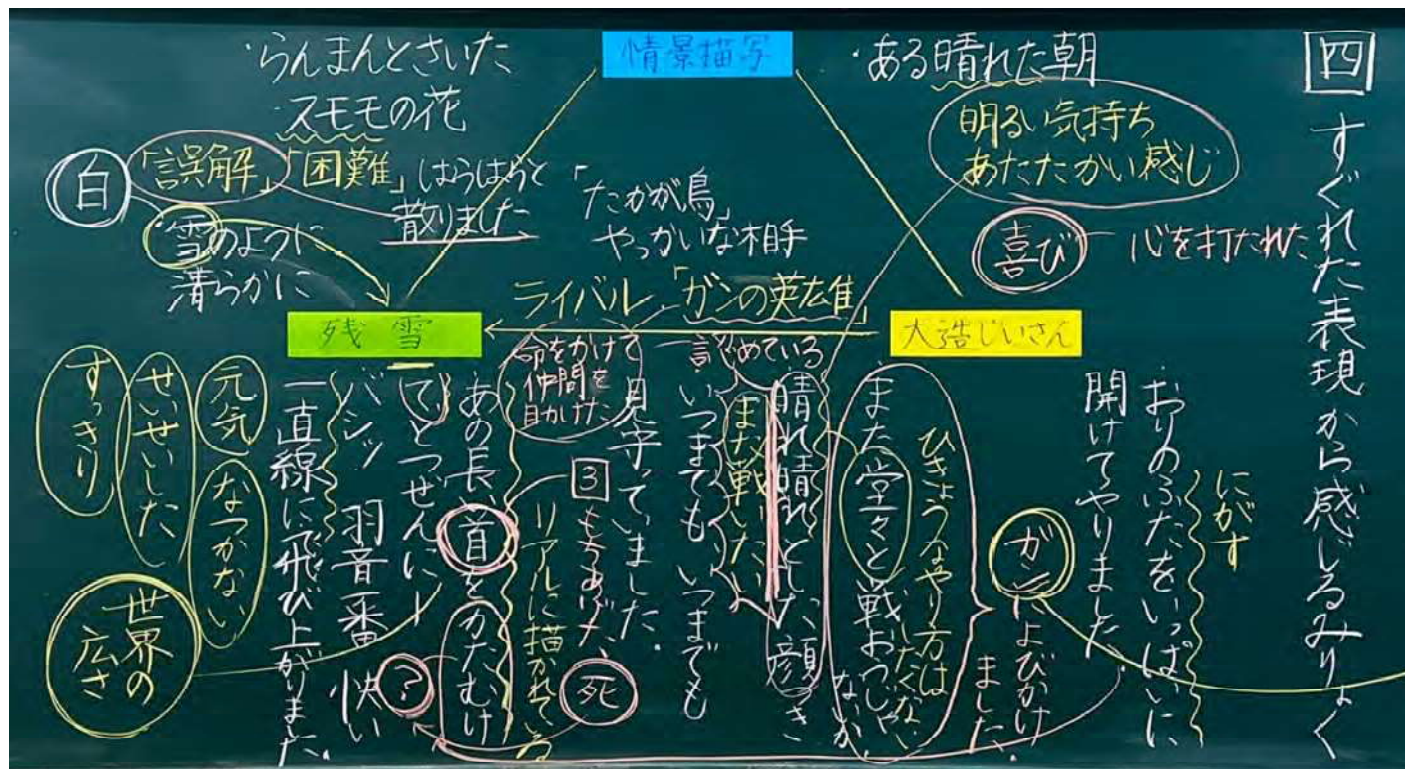
- 一斉学習
- 教材の構造化
- 単元のめあて
- 具体と抽象

第5時 大造じいさんと残雪の別れから、
物語の魅力を話し合おう。

一斉学習



教材の
構造化



他者をつなぐ。
発見と探究につなぐ。

(2) 大人になれなかった
弟たちに……

大人になれなかった弟たちに……

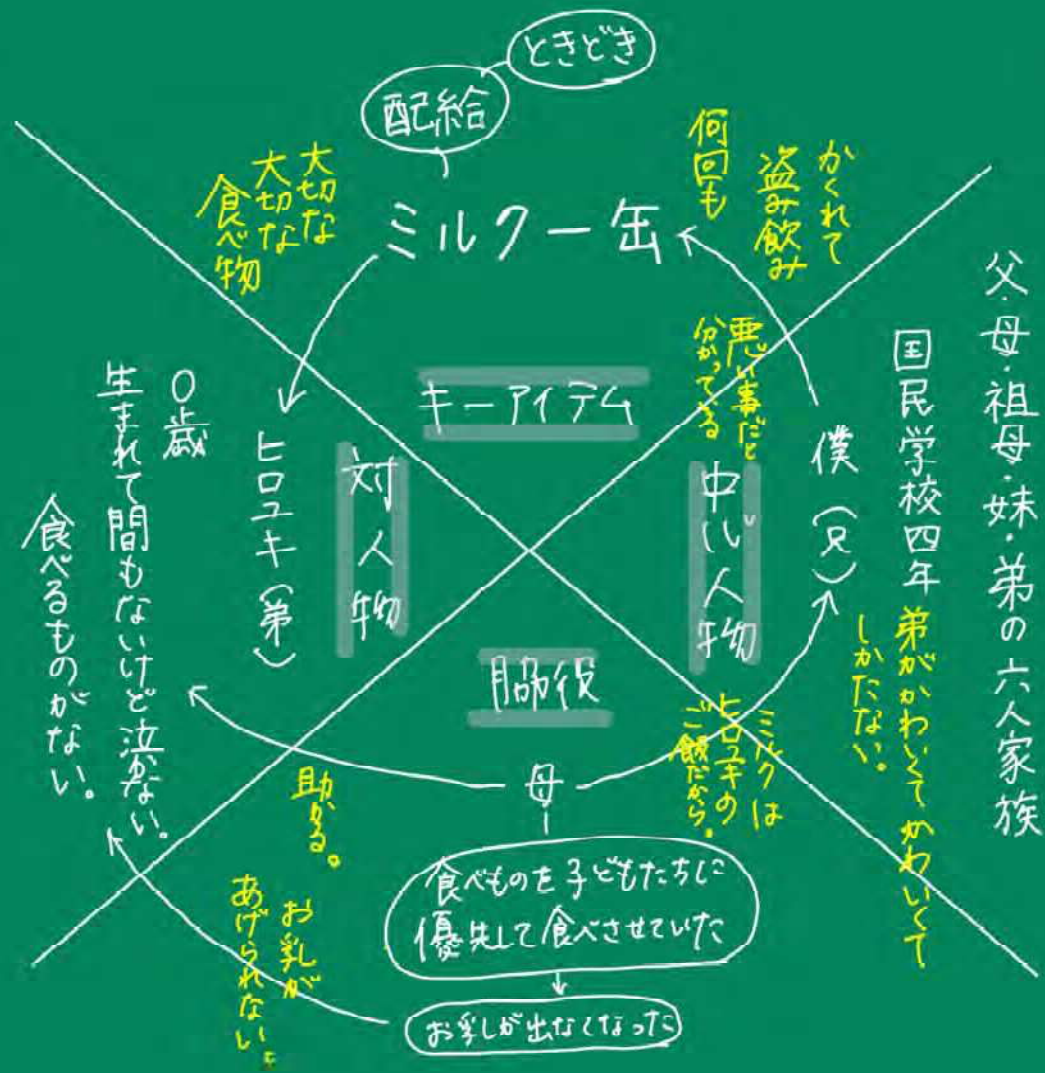
米倉 斉加年

めあて 設定を分析して問いをもとめる。

時：太平洋戦争のとき
場所：防空壕（地下室）

父母・祖母・妹・弟の六人家族

国民学校四年 弟がかわいくてかわいくてしかたない。



〈ふりかえり〉考えたい問い

大人になれなかった弟たちに……

米倉 育加年

めあて
僕が「忘れられない理由」を考えよう。

◎僕が忘れられないもの

- ・引越しの相談に行った帰りの母の顔
- ・暗い電気の下で、小さな小さな弟の口に綿に含ませた水を飲ませた夜
- ・忘れられません

ひもじかったことと弟の死 ↓ 一生忘れません

◎僕が忘れられない理由



◎なぜひもじかったことと弟の死は一生忘れられないと言ったのか。

◎ 題名に込められた思い

栄養失調です……。

僕は弟がかわいくてかわいくて仕方がなかったのですが、……それなのに飲んでしまいました。

でも、僕はかくれて、ヒロユキの大切なミルクを盗み飲みしてしまいました。それも、何回も……。

ミルクが一缶、それがヒロユキの大切な大切な食べ物でした……。

「……」が表しているもの
悲しみ、ひもじさ、辛さ、葛藤
後悔、戦争の悲惨さ、やるせなさ

◎「……」が使われている文

めあて
題名に込められた思いを読もう。

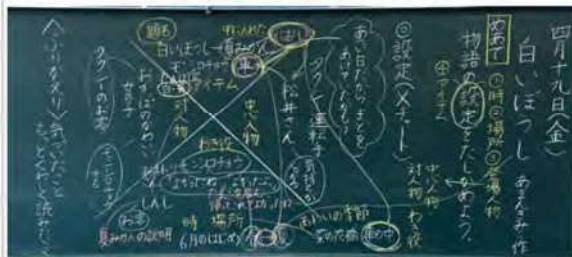
大人になれなかった弟たち……
僕の思い
米倉 斉加 年

子どもに気づきを与え

思考を活性化させる構造的板書

あなたもやってみませんか

①整理する2 設定分析Xチャート



設定を分析して登場するものに意味づけをする

©higuchi-ayaka

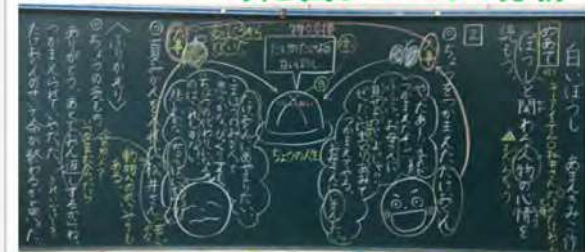
②広げる2 クラゲチャート



言葉に着目して関連付けながら読み広げる

©higuchi-ayaka

③比較する 人物の心情の対比 吹き出し・フェイス分析



対照的に描かれていることを発見し、意味づける

©higuchi-ayaka